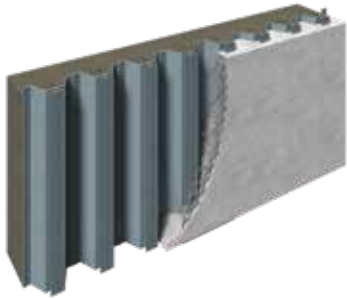



地下壁比較表

JFE スチールの地下壁は、従来工法（鋼矢板壁、鋼管矢板壁、ソイルセメント壁等）よりも薄い壁厚で、高剛性・高耐力の地下壁を構築できます。コンパクトな壁体なので、限られたスペースでの近接施工や、狭隘地・空頭制限下での施工が可能です。

名称	本・仮設兼用合成地下壁	土留め用壁体
	J-WALL® II 工法	Jドメール
概要図		
構造	合成構造用鋼矢板（ビートルパイル®：ハット形鋼矢板+CT形鋼）	H形鋼+直線形鋼矢板
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・本仮設兼用となり工期短縮、敷地の有効利用に貢献 ・鋼コンクリート合成構造で、高剛性・高耐力とともに薄壁化を実現 ・都市部の近接・狭隘地施工ニーズに対応 ・高い止水性 	<ul style="list-style-type: none"> ・高剛性で薄壁化を実現 ・都市部の近接・狭隘地施工ニーズに対応
適用例	アンダーパス、立体交差部、掘削道路、道路擁壁、地下通路（駅舎地下など） 免震レトロフィットなど	道路擁壁、地下通路（駅舎地下など）、ボックスカルバート、立坑、河川護岸など
標準幅	900mm（ハット形鋼矢板幅）	500mm（直線矢板幅）
施工方法	圧入工法、パイプロハンマ工法	圧入工法、パイプロハンマ工法
第三者機関による評価	(一財) 国土技術研究センター 建設技術審査証明 (一財) 日本建築総合試験所 性能証明 NETIS	